

【DRニュース・044】：『[紀行文] 第1回（外国人から見るスイス・チューリッヒ）』

2018年08月31日発信

今回は、弊社社員の長期（3ヵ月）海外研修を通して、見聞や感じた感想を「紀行文」として書きしるしたものを取り上げて見ます。

・・・ 彼女（張彤）が、観て感じた街並みや文化の違いなどを、シェアしてみましょう。

『外国人から見るスイス・チューリッヒ』**【第1回：紀行文（旅行記）】**

昨年も旅行でスイスへ行くことがありましたが、今年は少し長くスイスに滞在することになりました。

私は、2018年7月24日チューリッヒに着きました。

今は、8月の下旬、だいたい1ヵ月が立ちました、この短い間の感想を書かせていただきます。

1. 【天候～温暖の差が激しく空気が乾燥】

まず、気候から始めましょう。

夜9時空港に着いた瞬間、あー、東京の蒸し暑さが全然なくて、清々しくて気持ちがいい、

・・・ 一瞬、天国かなあ～～～と思いながら、

次の2週間、全ヨーロッパは^{もうしょ}猛暑に迎えられ、100年ぶりに暑くなりました。

・・・ そして、2週間後、やっと涼しくなってきました。

【青い空と白い雲の清々しい全景】



【夕焼けに染まるチューリッヒ】

でも東京より、空も澄みきっているのも、温度の差が激しくて、夜はお布団が必要です。

ですから、家庭にはほとんどエアコンが付いていないことが、理解できるようになりました。



【澄み切った青い空と緑の丘】



その一方、空気が乾燥していて、お肌も乾燥しちゃう、ヨーロッパ旅行（イギリスを除く）へ行く皆さん、ボディローションを忘れないでくださいね。

2. 【自由な雰囲気～挨拶・服装・お付き合い】

夜になると外でよく見る風景は、家族みんなで、大きなバルコニーでご飯を食べたり、おしゃべりをしたりします。・・・ 多分気候も要因の一つかなあと、私は思っていますが、

さらに、同じビルの2階と3階で違う家庭でも一緒に何かをしゃべって、楽しそうに晩御飯を食べることがよくあります。

・・・ 文化の違いをすごく感じました。



【スイスの国旗と植物があるバルコニー】



【街中に見るお屋どきの食事風景】

スイスへ来る前に、友人はこう言いました ～ スイスは、ヨーロッパのジャパンだと。

例えば、冬になると黒い服ばかりとか、お互いにそんなに親しくないとか、
特にスイス人と友達になりにくい点は、日本と同じだとかって言われていたんだけど、

・・・結局、外国人の私から見ると、服装や文化に結構な違いがあります。

例えば、スイス人同士の挨拶は、握手かお辞儀でなく、ハグをしながら頬にキスすることが普通です。 通勤時の社員は、スーツでなく平服姿が多いとか。

・・・でも、店の店員さんは、日本と同じで、みんながいつも^{ほほえ}微笑んでいて^{やさしい}優しいです。



【公園で友達たちとのミーティング】



【街中を行く人たちの光景】

今まで、女の子の私にとって、ここが大好きなのは、メイクしなくても外出 OK ということ、
・・・ この生活は、結構自由で快適だなと感じました。

多分、スイス最大の都市、チューリッヒを中心として、
外国人が多いことと、
もともと人種が単一ではないことから、



【もの思いにふける～私】

・・・ みんなは、自分のことを重視しながら、
他人との差も受け入れられる環境になったのだなあ ～ と私はそう思っています。

・・・ この点は、日本 や 中国 と違うところだと思います。

3. 【電車網と運賃・チケット代】

スイス人と日本人は世界で最も電車（Train）を利用すると言われています。

・・・ ただし、日本では座れない、スイスではスイスイ座れる ～～（笑）

実は、スイスの電車は日本と違って、改札口がないのです、

・・・ 事前にチケットを買って電車（バスと路面電車も同じ）に乗ればOKです。



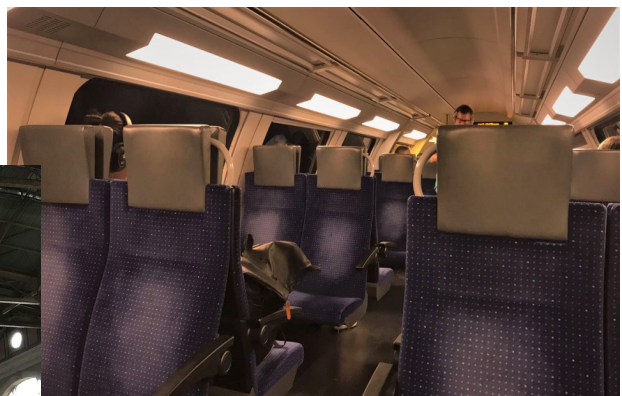
【街中を走る路面電車とチケット販売機】



チケットを確認する係員が車内でチェックすることが、^{まれ}稀にあります、

・・・ だからちゃんとチケットを買わないといけないよ。

【チューリッヒ中央駅の紫の天使】



・・・ 宙に浮いている“紫の天使”の下が、駅の待ち合わせ場所になっています。

東京では、電車網が発達していて、ラッシュアワー時には2～3分ごとに電車が1通です。

一方スイスでは、ラッシュアワー時には15分ごと、ラッシュアワー以外の時間帯には30分ごとに1通です。なお、路面電車は4～5分ごとに1通、バスは10分ごとに1通です。



「チューリッヒ中央駅の構内」

「チューリッヒ中央駅の玄関」

東京より不便なのに、チケット代は日本より高いです。

特に観光客に対しては、もっと高いです。

- ・・・電車で2時間程度の観光地へ行くと往復1万円以上かかるのが普通です。

でもスイス・パス(通勤券)という交通系カードを持っている場合、13,000円ぐらいの料金です。

- ・・・チューリッヒ市内のどんな交通機関でも1ヶ月間無料です。



「スイス・パスのポスター」

4. 【街角のゴミ処理と分別】

スイスと日本は同じように、街中のゴミが少なく、世界中で綺麗な国だと、よく言われています。

日本から来た私は、いつも自分のゴミを家まで持って帰っていました。

友達から、なんで家まで持って帰るの？ あちこちにゴミ箱があるのと言われて、

次の日ちゃんと見たら、

確かにあちこちに、ゴミ箱が設置してあります。

分別のゴミ箱もあるし、不分別のもあります。

- ・・・ これも日本と違います、なんだか、
もっと、雰囲気が自由な気がしました。



「街角にある分別用のゴミ箱」

5. 【建物事情と人口比較】

東京のように常に新しい建物を建てることと違って、

- ・・・ ここでは、あんまり改修と新築の工事が少ないです。
- ・・・ 商店街でも住宅区でも建物は古いままの場合が多いです。

多分建物の建て替えが少ないため、

- ・・・ スイスに高いビルが少ないのです、この点は日本と同じけど ～ 原因が違う。

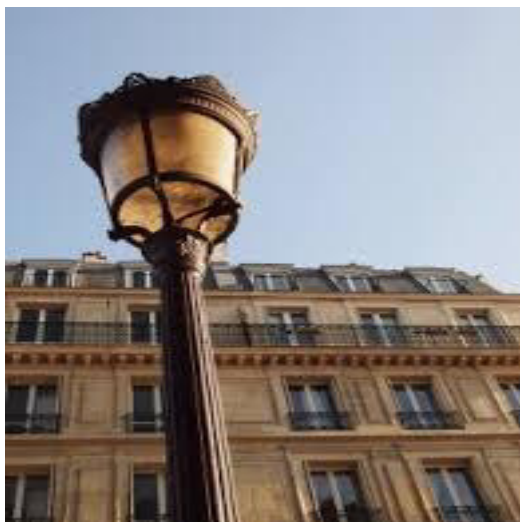


【高いビルの無い風景と建物】



例えば、まだ使える古い街灯などは古いままで OK の場合が多いです。

【古い街灯・古い商店街や住宅区の建物】



2018年の人口からみると、

東京の人口は、1380万人、チューリッヒの人口は、ただの34万人です。

さらに、スイス国の総人口は、855万人（2018年）、東京より少ないです！

この検索の結果には、私は、大変に驚きました！

・・・ 東京はやっぱり国際大都市です！ どうりで東京の電車はいつも混んでいます ! 笑 !

6. 【通貨と言語】

世界の中で、安定している通貨は、スイスのフラン（SFr）と日本の円（Yen）と言われています。

スイスはヨーロッパの中心の国だから、ユーロを使うのが当然だと思う人が少なくないでしょう、私もそう思っていました、

・・・でも、スイスは EU 加盟国ではないから、スイスフランを使っています。

現在の為替レートは、

- 1 フラン = 114.67 日本円
- 1 中国元 = 16.33 日本円
- 1 フラン ≒ 7 中国元
- 1 米国ドル ≒ 1 フラン
(1 米国ドル=111.00 日本円)



【フランの紙幣とコイン】



スイスは、フランス、ドイツ、オーストリア、イタリア の4 カ国と
リヒテンシュタイン公国に囲まれています。

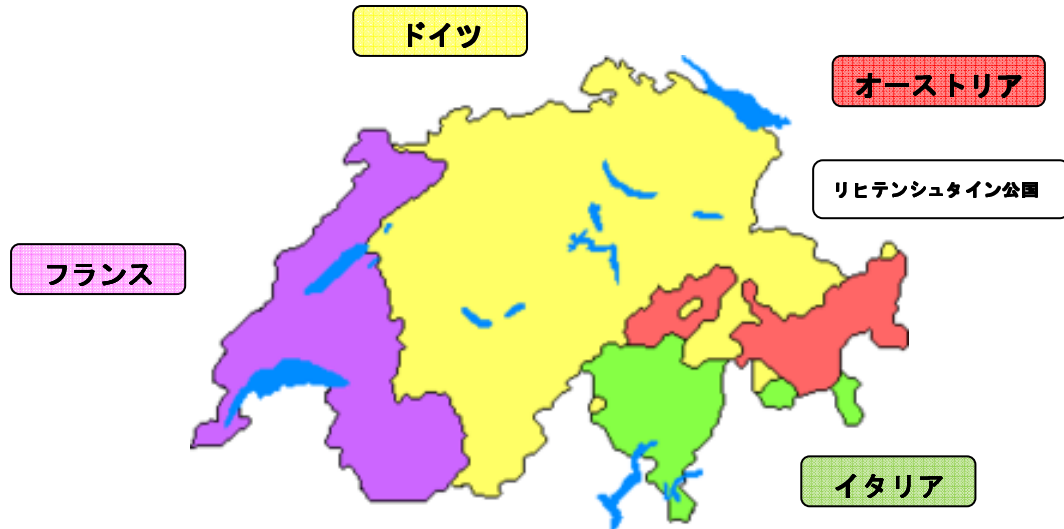


【5 カ国に囲まれたスイスの地図】

したがって、隣国の影響で、スイスの言語は、公用語として4つあり、多言語国家です。

英語は、これらの言語圏の橋渡しとして使われることも多いですが、公用語ではありません。
・・・だが、移民の関係や国際需要から、ポルトガル語・アルベニア語や英語が増えています。

【スイスの言語分布図】



紫 : フランス語、 黄 : ドイツ語 (アレマン語)、 緑 : イタリア語、 赤 : ロマンシュ語

私は7月の月末からドイツ語の勉強が始まりました。

・・・ なので、あんまり遊びは行けなかったです。

スイスが好きな皆さん、チューリッヒへ旅行に行きたい皆さんに、

ドイツ語を教えようと思います。

・・・ こんにちは : Hallo または Guten Tag

・・・ おはよう : Guten Morgen または Morgen

・・・ バイバイ : Auf Wiedersehen または Tschüs

今週からスイス・チューリッヒの街の歴史や人々の生活を、いろいろ学び体験して、

次回の「紀行文」を皆さんと、もっとシェアしようと思います。